

市内5地区において、延べ43名が参加し、総合計画策定に向けたワークショップを開催しました

ワークショップの概要

1. 目的

飯塚市のまちづくりの方針として策定する総合計画に市民の意見を反映させることを目的として実施します。

2. 概要

期日	場所	参加者数
1月22日（木）	穂波交流センター	4名
1月24日（土）	市役所多目的ホール	11名
1月26日（月）	颯田交流センター	12名
1月28日（水）	庄内交流センター	9名
1月29日（木）	筑穂交流センター	7名

3. 結果の活用等

ワークショップの結果はとりまとめ、飯塚市ホームページ等で公表予定です。

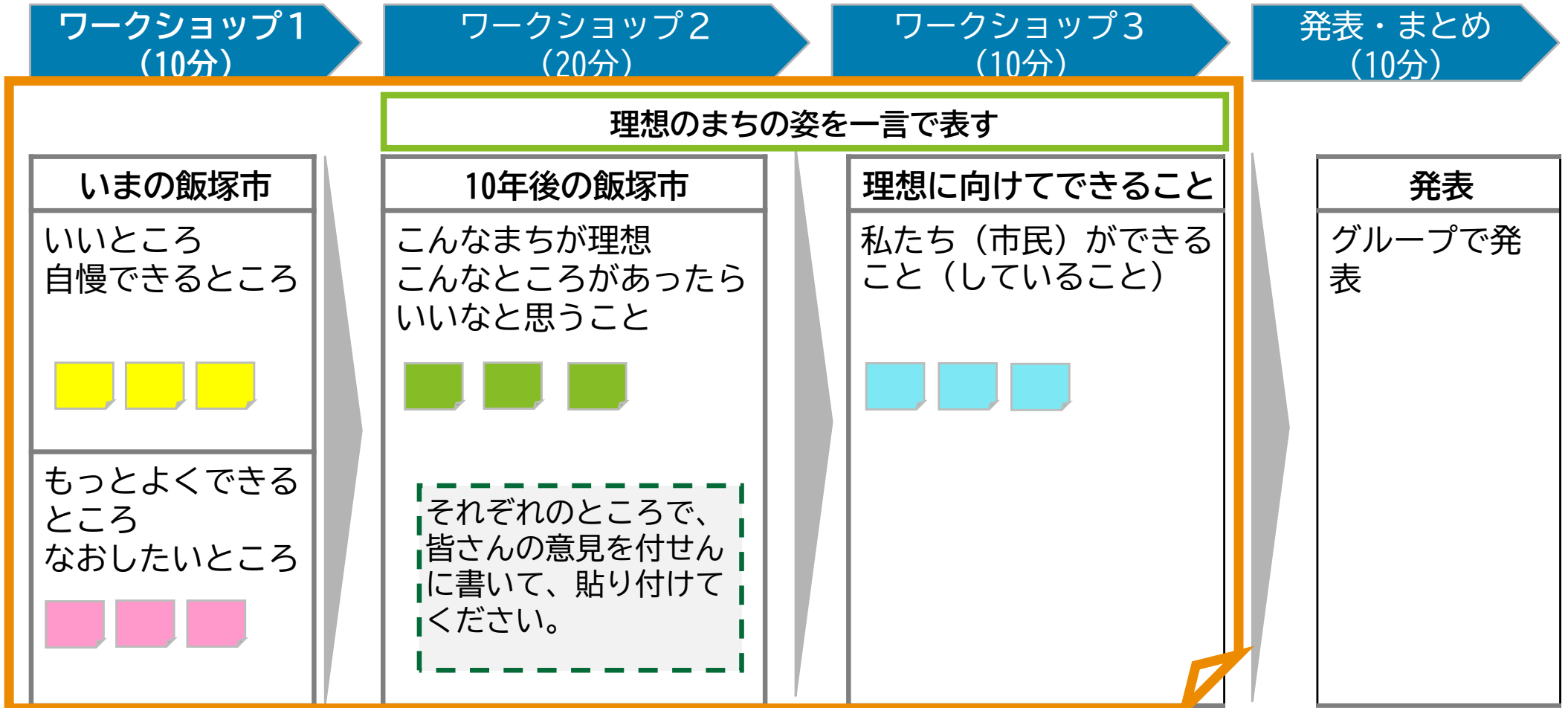
また、総合計画のうち、めざすまちの姿の参考とさせていただく予定です。

◆進行＜詳細は次ページ＞

1. 自己紹介：飯塚市で好きなところ
2. ワーク1：今の飯塚市のいいところ、もっとよくできるところ
3. ワーク2：10年後の飯塚市の理想の姿
4. ワーク3：理想に向けてできること
5. 発表：各チームから発表

ワークショップ当日配布資料から抜粋

この市民ワークショップでは、飯塚市の現状を踏まえ、10年後の飯塚市の理想のまちの姿を市民目線から提案いただくことを目的としています。



ルール

- ① 出てきたアイデアを批判してはいけない
- ② 自由なアイデアを歓迎する
- ③ 質より量を重視する
- ④ 他人のアイデアに便乗した意見も歓迎する

皆様のご意見は、飯塚市の新しい計画にいかします。

参加者は5名程度ずつのグループに分かれ、ファシリテーターの進行のもと、意見を出し合い、結果を模造紙にとりまとめ発表しました

各グループで作成した模造紙（抜粋）



参加者は5名程度ずつのグループに分かれ、ファシリテーターの進行のもと、意見を出し合い、結果を模造紙にとりまとめ発表しました

各グループで作成した模造紙（抜粋）



参加者は5名程度ずつのグループに分かれ、ファシリテーターの進行のもと、意見を出し合い、結果を模造紙にとりまとめ発表しました

各グループで作成した模造紙（抜粋）



今の飯塚市について、アクセスがいい、医療機関や商業施設などが充実している、公共交通が不便、空き家が増加しているなどという意見が挙げられています

今の飯塚市

■いいところ、自慢できること

- 都市へのアクセスの良さ
(福岡・北九州へのアクセス、鉄道・バイパス)
- 医療機関が多く質も高い
- 子育て支援・教育資源（大学・図書館・講座）の充実
- 自然が豊かで食べ物・農産物が美味しい
- 大型商業施設や日常の買い物の便利さ
- 祭り・文化・スポーツイベントが多い
(嘉穂劇場、車いすテニス、盆踊りなど)
- 人が親切・温かく、地域活動・まちづくりが活発

■もっとよくできるところ、なおしたいこと

- 車がないと不便、公共交通の不便（接続・便数・時間帯・路線）
- 子どもの屋内遊び場や一人で安全に行ける場所の不足
- 空き家の増加と未活用、商店街の衰退
- 夜間の街灯不足・治安不安、歩道がない・狭い・道路劣化
- コミュニティの弱体化（自治会加入率低下、交流機会不足）
- 美術館・科学館など文化施設やランドマークの不足、観光資源の活用不足
- 行政の広報・情報発信・手続きのデジタル化の不足
- 学びの多様化支援不足（不登校対応、フリースクール等）
- 高齢者・免許返納後の移動や居場所の不足
- ごみ分別や路上ごみなど環境面の課題

理想の姿として文教都市としての発展、地域コミュニティの充実、子育てしやすい環境などが挙げられています

理想の姿

■ 10年後の飯塚市の理想の姿

- 文教都市としての発展（公立フリースクール、体験・文化の学び、100年学び合うまち）
- 誰もが参加しやすい地域コミュニティ（自治会＋まちづくり協議会）、透明で効率的な運営
- 子ども・若者・高齢者の居場所や交流拠点の充実、公園・屋内遊び場の整備
- 交通網の高度化（バス・乗合・無人バス・柔軟な乗降、バイパス整備）
- 空き家・空き店舗の利活用、商店街再生、独自の「目玉」づくり、オシャレ度の向上
- 安全・安心・きれいで防災力の高いまち、犯罪が少ない
- 子育てしやすい環境で出生率向上、Uターン・定住促進、外国人とも共生
- 花いっぱいなど景観美化、地域誇りの醸成

理想に向けてできること

■ 理想に向けてできること

- ボランティアや市の委員会・イベント・ワークショップへの参加、意見発信
- 世代横断の交流づくり、地域のキーマン育成、公民館・図書館の活用
- ごみ拾い・分別徹底・美化活動、花いっぱい運動
- SNSや広報で魅力・情報拡散（ハッシュタグ、広報紙の工夫）
- 大学生等との連携、まちづくり大学設立、手続きのオンライン化支援
- 空き家紹介やリユース活用（ジモティー等）、資源循環
- 健康維持、地元で買い物、PTA参加、公共交通の積極利用
- 市・市長のリーダーシップによる目標設定、他地区の取り組み学習

穂波地区では、いいところは買い物や生活の便利さ、課題は道路や歩道などの状況が挙げられ、理想の姿として居場所の充実などが挙げられています

いいところ、課題

■ いいところ

- 買い物・生活の便利さ（ゆめタウン・イオン等）、人口規模が適正で混雑が少ない
- 福岡・北九州への車移動がしやすい、渋滞や危険が少ない
- 食べ物・農作物がおいしい、のんびりした雰囲気
- 役所の対応が良い

■ 課題

- 空き家活用の手続き簡素化の必要、商店街の縮小
- 文化施設・公園（屋内・屋外）の不足、道路・歩道の狭さや劣化
- 車依存、街灯不足、近所での交流減少
- 子ども・大人の遊び場不足、自治会加入率の低さ、小学生が入れる児童館の不足

理想の姿、できること

■ 理想の姿

- 子ども・若者・高齢者の居場所充実、学園都市の強化
- 交通網整備、人のつながりの回復、空き店舗の有効活用
- 治安良好で清潔、外国人も働きやすい、定住意向が高まるまち

■ 理想に向けてできること

- 高齢者や子どもへの支援、世代交流の場づくりと情報拡散
- 地域のつながりを大切に、健康維持、ボランティア参加・美化活動
- 趣味でつながるイベントの企画

飯塚地区では、いいところは商業、医療、教育が充実し、アクセスがよいこと、課題は自治会の加入率低下などが挙げられ、理想の姿として体験拠点の整備などが挙げられています

いいところ、課題

■いいところ

- まちづくり・地域活動・イベントが活発、移住受け入れ文化
- 商業・行政・医療・教育が充実、大学・図書館が多い
- 自然に恵まれ、アクセス（新飯塚—博多約40分、バイパス拡幅）良好
- 子育て支援の充実、起業支援あり、伝統文化・炭鉱の歴史が残る

■課題

- 子どもの安全な遊び場・屋内施設不足、交流機会不足
- 観光・体験の弱さ、自治会加入率低下、場所によって交通不便
- 夜間の街灯・治安不安、商店街・外部イメージ、広報の質・オシャレ度
- 行政手続きのデジタル化不足、施設利用のしづらさ、教員待遇、不登校の多さ
- ごみ分別・路上ごみ、選択と集中の必要

理想の姿、できること

■理想の姿

- 自治会＋まちづくり協議会による参加しやすいコミュニティ、ルールに見える化
- オンライン化と支援、人材・土地の計画的活用、先生が来たくなるまち
- 子どもの居場所、公園整備、観光増、出生率向上、特色ある旧町のまちづくり
- 文教都市、家族参加イベント、オシャレ度アップ、リアルキッズニアのような体験拠点

■理想に向けてできること

- ボランティア・委員会・WS参加、情報発信、属性別の居場所づくり
- 自治会の会計にDAO/ブロックチェーン等の活用、広報の充実・おしゃれ化
- まちづくり大学、大学生の巻き込み、公民館・体育館活用
- ごみ減量・分別、キーマン育成、図書館の充実、市民のサポートチーム形成

穎田地区では、いいところは人がやさしく団結力があるなど、課題は買い物などが不便であることが挙げられ、理想の姿として住みやすいまちなどが挙げられています

いいところ、課題

■いいところ

- 子育て支援センターの手厚さ、子どもが素直で元気
- 人が優しく団結力がある、交流拠点が多い、幼なじみの関係
- 自然・水が良い、歴史文化が豊か、病院が多い
- オートレース・車いすテニス、銘菓・ふるさと納税品、アクセス（電車で博多へ座って行ける）

■課題

- 買い物不便（スーパー不足／利用が少なく存続困難）
- 竹林・里山の手入れ、空き家・廃墟の増加、自治会未加入や地域関心の低さ
- 交流消極的、世代間交流機会の不足、老人会減少で高齢者の活動機会減
- 交通不便（免許なしの弱者に厳しい）、福祉施設の老朽化、耕作放棄地
- 体を動かす場所不足、自然・歴史の保護、危険箇所の防犯対策、使えない公共施設、商店街課題

理想の姿、できること

■理想の姿

- 花いっぱいのみち、まち協活性化、外から人が来る仕掛け
- 若者が住みやすく、世代で共創できる場、自然・歴史への誇り、Uターン増
- 小回りの利く施設整備、公園等の最低限設備
- 顔なじみの助け合い、健康寿命延伸
- 免許返納後も不便がない、防災力が高く治安良好、花火大会継続
- 子育て意欲が高まる、地域貢献の寄付が生まれる

■理想に向けてできること

- 自然保全、自家菜園の種配布、ベンチ設置など暮らしの工夫
- 花いっぱい運動、季節ごとの集客スポットづくり、花火大会継続
- 空き家紹介でUターン促進、健康維持、意見発信、郷土愛の醸成
- 他地区事例の学習、プロとの連携、ファンづくり、地元購買、座談会開催

庄内地区では、いいところは食の充実や生活体験学校など、課題はイメージの刷新などが挙げられ、理想の姿として地域活動の再構築などが挙げられています

いいところ、課題

■いいところ

- 農産物がおいしい、食の充実
- 学校教育・生活体験学校・自校式給食、子育て支援センター
- 文化施設、交流センター多数、病院・大学
- 交通アクセス改善、商店街のイベント、日常の買い物の便利さ
- ほどよい都会と田舎のバランス

■課題

- 駅近に大型で安価な駐車場の不足、美術館の不足
- 宿泊施設・人が集まるランドマーク、広い屋内遊び場の不足
- 炭鉱イメージの刷新、街灯費用負担の不公平是正
- 大学生と子どもの交流機会の不足

理想の姿、できること

■理想の姿

- 地域新聞発行、隣組制度の再構築、災害対応の充実
- 全国・県1位の「目玉」、学校がワクワクする場に
- 転入増、週休3日で地域活動、女性消防団員増
- 空き家利活用、大学生の定着
- 無人バス、近所に遊び場、買物難民対策
- バイパス整備で来客増、子育て世代が増える、外国人と交流共生
- 教育のまち、働く場の多さ、安全安心・芸術文化、公共交通の維持

■理想に向けてできること

- 地元で買い物、消防団活動、健康維持
- 市民活動の推進
- SNSで魅力発信、環境美化をゲーム化
- 子育て家庭の地域サポート、公共交通の積極利用
- 世代間交流の雰囲気づくり、街灯維持の仕組み検討

筑穂地区では、いいところは挨拶の文化や安全など、課題は交通手段の不便さなどが挙げられており、理想の姿として交通インフラの充実などが挙げられています

いいところ、課題

■いいところ

- 見守り・親切・安全、絆や挨拶の文化
- 食・スイーツ、自然、福岡・北九州へのアクセス
- 病院が多い、車いすテニス・ボルダリングなどスポーツ、文化施設
- 災害が少ない、子ども食堂、元気なお年寄り、物価が安い、市役所の窓口が早い

■課題

- バスの柔軟な乗降・コミュニティバスの時間帯不足、駅・バス接続不便
- 学童保育の見直し、子どもの居場所、防災力の強化
- 高齢者の交通手段便利に、時給・バイト不足、商店街の活気
- 障がい児者の活躍機会・交流の場、団体の情報発信、空き家活用

理想の姿、できること

■理想の姿

- 住み続けたいまち、交通インフラの高度化（柔軟乗降・乗合タクシー拡充）
- 人と人のつながりの深化、女性市長や議会の年齢上限・二人制市長など多様性のある政治
- 行政サービスの地域ワンストップ化、男性の育児参加・家事力向上
- 働ける場の増加、ひとり親の安定収入、教育無償化
- 障がい児者の居場所
- 子どもが伸び伸び過ごせる

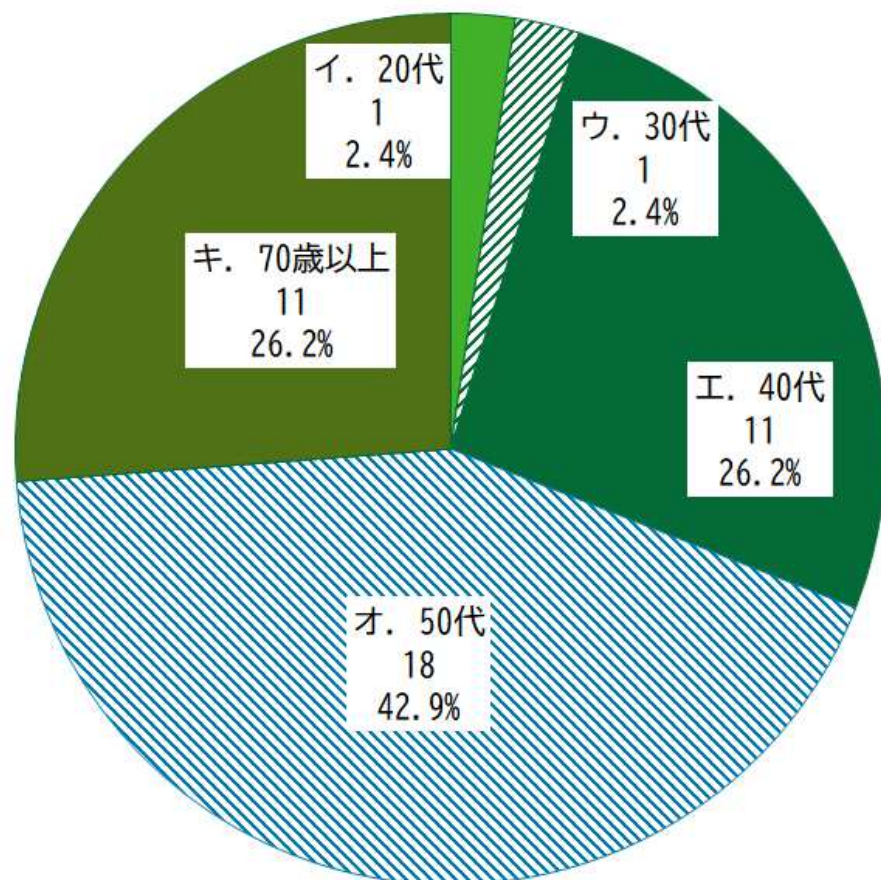
■理想に向けてできること

- 挨拶・声掛け、地域のつながりづくり
- プロデュース人材やおしゃれな店の誘致
- 子連れで働きやすい場、個の発信の後押し
- 市職員・市民・議員の意見交換の場、横のつながり、PTA参加
- 既存資産を大切にしつつ新しいものを受け入れる

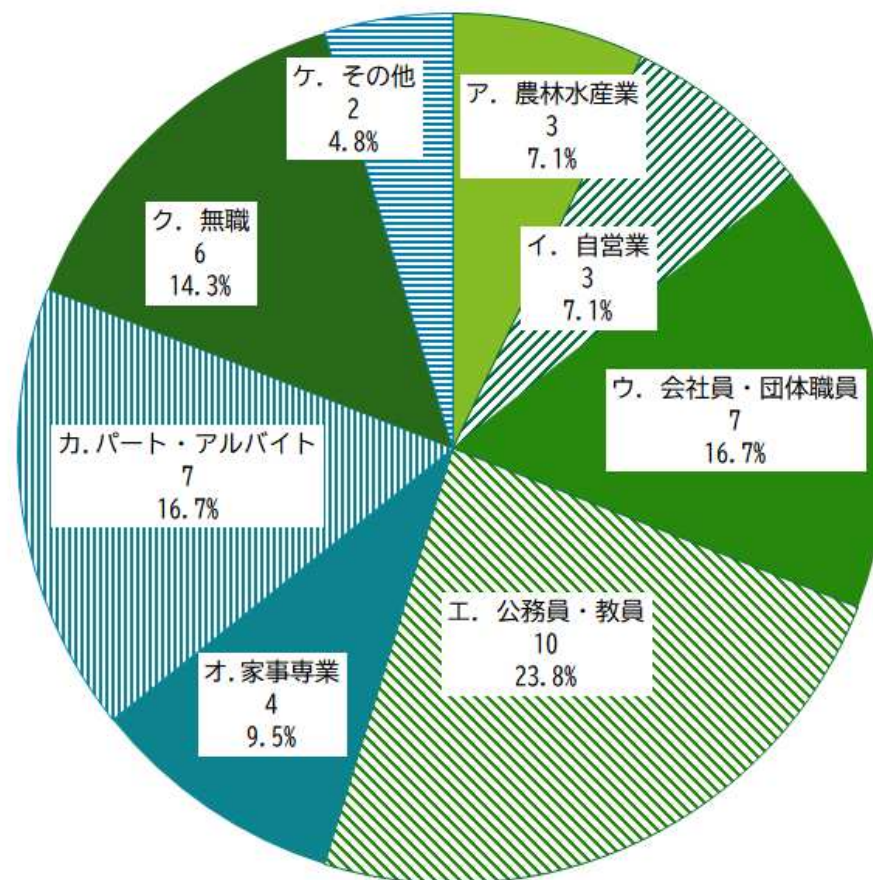
実施後のアンケートによると、参加者の年齢は、50代が最も多く、職業では会社員、公務員が多くなっています

アンケート結果（1）

1. あなたのご年齢は？ (N=42)

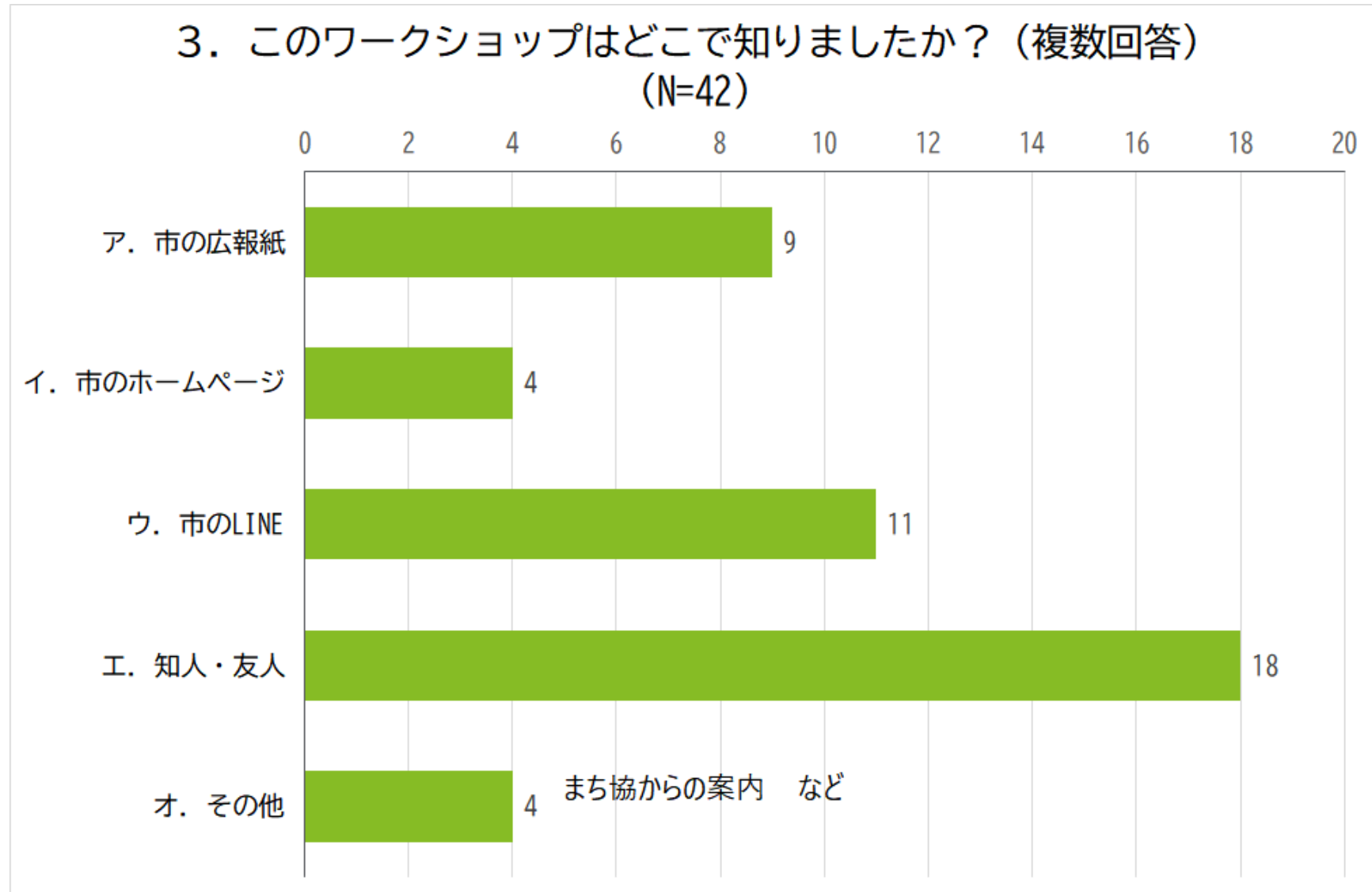


2. あなたのご職業は？ (N=42)



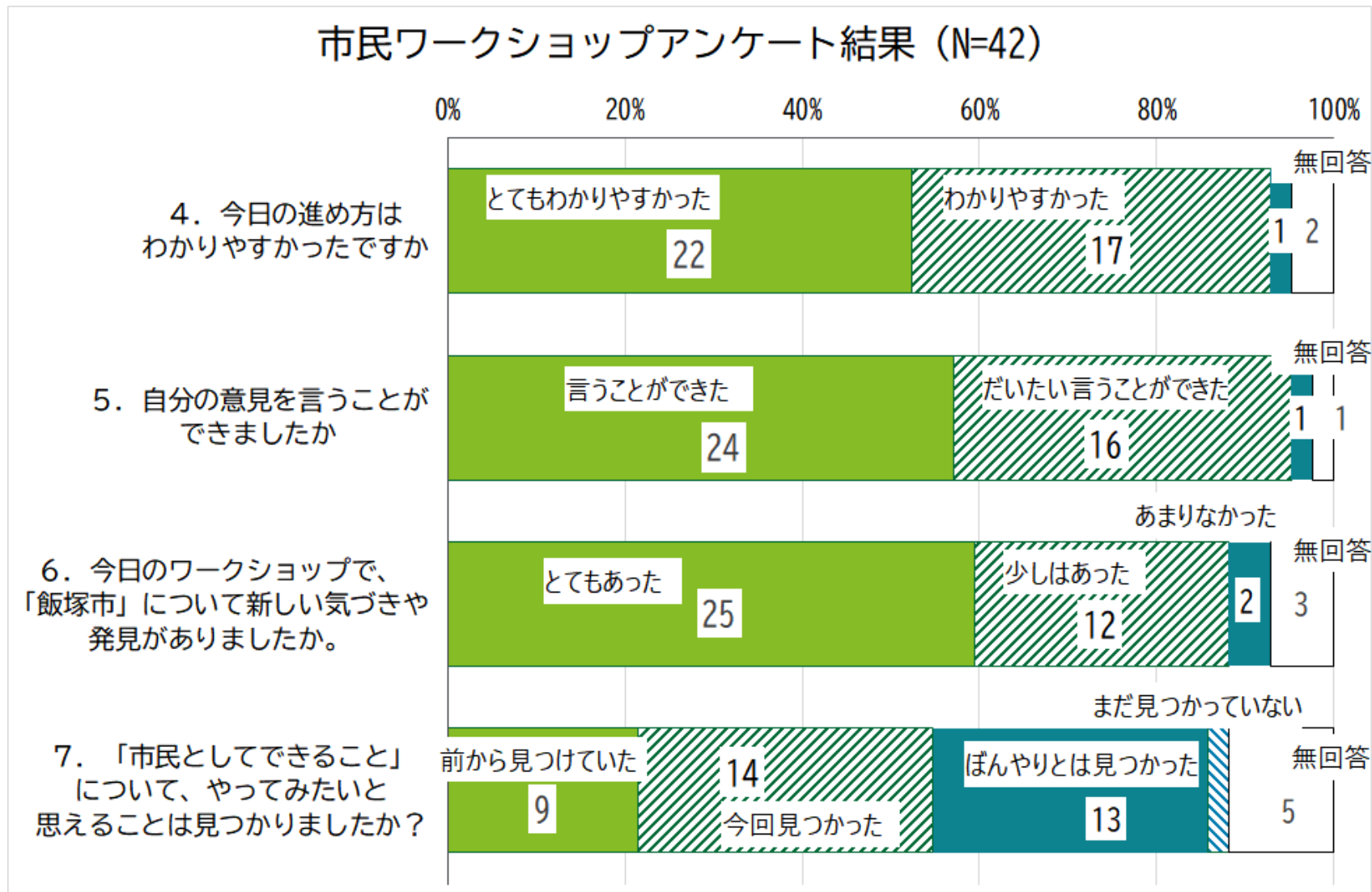
ワークショップを知ったきっかけとして、知人・友人が最も多く、市のLINEや広報紙からも多くなっています

アンケート結果（2）



実施後のアンケートでは、自分の意見を言うことができた、気づきや発見がとてもあったという意見が多く回答されています

アンケート結果（3）



新しい気づきや発見として、いろんな人の考え方をきくことができた、参考になったという回答が多く、また、積極的に考えている人がいることがわかったという回答もありました

「飯塚市」についての新しい気づきや発見

- 最近、若い人達との交流も少なくなってきた、今回の資料で中学生の意見などが知れてよかった
- 人口動態のデータを見せてもらえた、ワークショップがあることがわかった
- 良い面、改善した方がよいところなど他の方の意見が参考になりました。
- いろいろな考え方をきくことができた。
- 出席者の考え方が良く発言があった
- 前向きな人が多いということ
- 想いを共有できた
- こんなに市を良くしていこうと考えてくれて、行動してくれている人がいること、意見も聞けて、とても嬉しく、勉強になった
- 市のもっている魅力、いいところが自分の考えよりたくさん出ていました。
- 参加者は皆、積極的に飯塚市の未来を考えておられることを知った
- とても、色々な施設を持っていたり、知らないイベントがたくさんあること。話をきくと興味深く、みんなが知らないことを残念に思いました。もう少し、沢山の方に参加出来たらと思いました。
- いいところが 多いのだなーと改めて感じた。
- 思った以上に飯塚に魅力的なお店がありました
- 思った以上に飯塚市いいところ!と思いました。
- つながりをもてるような事を計画できるといいな
- 様々なところで活動している人がつながれるようなくみが必要
- 自治会の問題、教育の現状
- 自治会のルール(街灯の費用は自治会に加入してる人のみがおさめる等) あたらしい発見がありました。
- 子どもの居場所の大切さかんじた。自治会加入50%以下など
- 安全、安心・住みやすいまち
- 公共交通の重要性
- 子育て等を考えている人が多い
- 中心部と外側の地域の格差が大きい。支所や地元との密に課題を解決して欲しい

できることについて、ボランティア活動への参加に加え、地域の方々とのつきあいやコミュニケーションをとる、課題に取り組むという回答も多く挙げられています

市民としてできること、やってみたいこと

- ボランティア (有償含む)参加
- イベントのスタッフのお手伝い
- 地域のボランティア、自治会の活性化、
- 花壇の花植え
- 絆を強めるためのあいさつやイベントへの参加
- 今の活動を継続していく.
- 自宅をシェアして集まりの場ができればと考えてます。
- 小さなコミュニティをつくること、
- 地域の方々とのコミュニケーションをもっと取る
- 人つきあい
- 考えること意見交換することから始める
- 市のイベント等、まちづくり協議会等へもっと参加していろいろな方とふれあうこと、話すこと、等
- 今回のようなワークショップなどになるべく積極的に参加して飯塚市をもっと知ること
- まずはこの地域の人々が不快に感じている所を改善していくグループをつくり変えていきたい。
- 地元の小さな課題に素直に取り組みたい
- 飯塚で買い物をする。地域活動をする。元気に働く、死ぬまで
- 審議会などで発言すること
- まちづくり大学
- 市民が共同する。
- 魅力を知ること！
- 住みやすい町であることをPR、発信し転入者を増やす
- インフルエンサー(非公式)になります。
- 外にむけて発信していきたいと思いました。
- 意見を発信していく.関心を持つ(住んでいる地域に)イベントに参加して盛り上げる
- 子供と一緒に育てられるつながり、空き家の活用、Uターンからの産業振興
- 公共交通
- 教育も大切なこと

新しい総合計画に盛り込むべき取組について、居場所づくり、住民自治の推進、公共交通、デジタル化などの回答が挙げられています

新しい総合計画に盛り込むべき取組や事業

- コロナでできなくなっていることなどを復活して行ってほしい。運動会（市民）
- ボランティアで来てくれる人には限りがあるから 少しでもメリット(軽食などから)がある形にしていけたら !!!
- 飯塚へ入ってこられる若い方々へのいろんなイベントのお知らせ
- 人が集える場所を多くしてほしい
- 人と人とのつながり、絆
- 高齢者の孤独感・介護や子ども達への虐待など、もっと人との交流があれば減るのではないかと思う。是非、人とつながるような取組を企画してほしい。
- いいづかベンチャーズ（イベンジャーズ）アベンジャーズみたいなポスターを使うこと。飯塚にルーツをもちつつ様々な場所や分野の得意をもっているベンチャーなイベントで街づくり事業を行う。
- 居場所づくりをまとめるしくみ
- 文教都市としてのブランディング、アントレプレナーシップ教育
- 教育に関すること、費用の無償化とかではなく、内容の充実を図ってほしい。目指す街づくりに沿ったインフラ整備
- ぜひ 不登校についてのとりくみをしてほしい。自然活動 できる場所をより活用してほしい。
- HEART Globalのワークショップを毎年小中学校で開催
- 住民自治を推進する取組(特に女性や子どもに対して)
- 旧町ごとに特色ある街づくり、(その町の良さ 資源など) 。子どもも大人もいっしょにやっていくこと 。子どもの居場所づくり(フリースクール)
- 飯塚市としてのイベントなど若者向けのものを開いてほしい(直方市のように)
- 子ども、若者が増える取り組みについて
- 大きな建て物が残っているが、今後どうなるのか?
- 地区の旧施設の整備を行い、ショッピングセンター等の住民施設を作ってほしい
- プロフェッショナルな方に、飯塚をPR発信していただく(飯塚出身の人ならなおさらいいが、そうじゃなくても)..
- 外国人の労働者が増えることへの対応
- 働きやすいまち.残業がない通勤がしやすい
- 地域公共交通のあり方
- 市の組織のタテ割を横に拡げてスムーズな推進をして下さい
- チャレンジ精神、むぼう、規格外でも取り組む姿勢!
- 様々な事をデジタル化、簡略化
- オンライン化の枠組み
- 市民が読みたくなるような 分かりやすい計画書を作成してほしい

楽しく交流できた、もっと多くの人が集まってほしい、このような機会を増やしてほしいという回答に加え、実行につなげてほしいという回答が多く挙げられています

自由意見

- いろんな人の話。今までの生き方など交えてきけたことがよかった
- たくさん意見が出て気づきがあった。
- 皆さんの意見がきけてよかったです。勉強になりました。
- いい人が多くて、楽しかったです。
- とてもいろんな人の本音がきけて、楽しかった!
- 住民の皆さんと意見交換でき、とても刺激を受けた。
- 世代を越えて話せてよかったです。
- いろいろと考えるきっかけになりました
- みなさんとお話できて自分の心の中がたがやされた感じがたのしかったです。ありがとうございました。
- 世代をバラバラにしての今日のようなワークショップを行ってもいいのでは。今日のメンバーに中学生がいても
- こういう機会を続けてほしい。
- 様々な属性の方のあつまるワークショップを企画してほしい
- もっと たくさんの方をあつまってくるのかなーと
- もっと沢山の方が参加して意見を出し合えたらよかったのと思いました。
- 色々な方ともう少し話しが、出来たら
- お互いの意見を交流する機会が今後も増えると良い
- もっと大人数でワークショップがあるとよいなと思いました
- ワークショップを増やしてほしい
- 今回誘われて知りましたが、もっと告知をしたら、市民が集まるのでは?と思いました。ありがとうございました。楽しく参加できました。
- このような座談会だと、飾らずざっくばらんな意見のかよわせ合いができて良いなと思いました
- やはり、人ありきのまちだなあと感じました。まちを沸かす熱力は人です!
- 飯塚にも、熱い思いを持った方がたくさんいるのだと嬉しく思いました。
- 地域住民がもっとたくさん参加する仕組みづくりが必要だと思いました。
- まだ変化のできる市だと思うので、一緒にできたらと思う。
- 情報が拡散できる、孤立している方にも届けていく方法。このようなワークショップも多く参加されるように
- 飯塚市の情報全国：県内トップ10に入っていることorワースト10に入っていること等の情報提供があったらさらに意見が出やすいのではと感じました。例：○の出荷量が1位、凶悪な事件数○位等
- もっと子育て支援があると、子育て世代の人口が増えるのではと思います。市の良いところをどんどんSNSで発信してほしいです。(出来れば若い人の目線で)
- 今回のワークショップの内容を一つでも実行につなげてほしい。
- 立派なキャッチフレーズだけでなく、実態を伴った内容にしてほしい
- 割と今現状がありがたい環境だと思いました。